令和4年3月10日

鳥羽市議会会議

質疑通告者一覧表

| 発言通告者       | 議席番号 3番 氏 名 瀬 﨑 伸 一   |
|-------------|---|
| 件名及び<br>要 旨 | ○ 議案第46号 令和4年度鳥羽市一般会計予算について<br>議案第46号 令和4年度鳥羽市一般会計予算について市長に<br>問う。市長選挙後、初となる当初予算編成であり、本予算こそ中<br>村市政の方向性が本格的に示される絶好の機会と捉え、議案の精<br>査を行った。そこで以下の諸点につき、疑義を持ったので、質疑<br>する。 |
|             | ① 市長定例記者会見において、令和4年度鳥羽市一般会計予算の<br>命名を「らしさづくり予算」と発表された。市長の描く「らし<br>さ」とは何か。どういった思いの表れか。   |
|             | ② 市長が本当初予算において政治家として重点的に予算配分したのはどこか。また、どういった展望、ビジョンによるものか。  |
|             | ③ 鳥羽市の目指す方向性として重要となる「地域共生社会」の実現であるが、その点を重要視した予算配分はなされたのか。また特に、同じ観点から、8款消防費1項消防費における「消防団員の処遇改善」について、その真意を問う。   |
|             | <市長>  |
|             |   |
|             |   |
|             |   |

| 発言通告者       | 議席番号 10番 氏 名 戸 上 健   |  |
|-------------|--|--|
| 件名及び<br>要 旨 | <ul> <li>○ 令和4年度当初予算所信表明及び提案説明について</li> <li>① 市長は所信表明で「地域経済の活性化を図っていきたい」「市内経済の下支えや好循環を図るうえでポストコロナを見据えた事業展開への支援」と述べた。それらはどのような事業を指すのか。それらの事業展開にどれだけの予算を注ぎ、それによる市民所得の向上額、市税増収額、新たな雇用効果をどのように見定めているのか。</li> </ul> |  |
|             | ② 三重県は新知事の元「人口減少対策課」を新設し、移住や子育て支援策に力を注いでいる。鳥羽市にとっても人口減少対策は待ったなし課題であるが市長の所信表明に「人口減少」の言及はない。あるのは「少子高齢化等による人口構造の変化を見据えた対策」の文言だ。市長は人口減少やむなしの姿勢か。 <市長>  |  |

| 発言通告者               | 議席番号 10番 氏 名 戸 上 健   |
|---------------------|--|
| #<br>件名及び<br>要<br>旨 | ○ 議案第46号令和4年度鳥羽市一般会計予算について<br>歳入16款2項財産売払収入物品売払収入4,390万円は廃<br>目となった。永年続いた同予算計上を初めて廃目とした歴史的予<br>算(案)と言える。菅島市有地でのかんらん岩採石は終結とする               |
|                     | 予算措置か。廃目は何年ぶりか。廃目に伴う採石場緑化協定書の<br>遵守も関連するが市長はどういう基本的姿勢で臨むのか。協定書<br>調印3者のうち市を除く2者は市長の同意を得ず採石続行認可<br>申請書を県へ提出した。廃目予算案を計上した市長はどういう姿<br>勢で臨むのか。 |
|                     | <市長>   |
|                     |  |
|                     |  |
|                     |  |

| 発言通告者       | 議席番号   1 番 氏 名   南 川 則 之   |
|-------------|--|
| 件名及び<br>要 旨 | ○ 議案第46号 令和4年度鳥羽市一般会計予算について<br>次の点についてきく。  |
|             | ① 令和4年度の当初予算については、堅実に編成されていて、最も厳しい状況から脱しているように見えるが、市長は、今後も厳しい状況が続くと見込んでいるのか。また、一般財源総額を確保し、経常経費、政策経費共にシーリングを掛けない予算編成となっているが、手放しで喜んで良いのか疑問である。真に市民に必要な取組みを進めるべきであり、市長の財政の基本的な考えをきく。  |
|             | ② 昨年の9月議会で予算決算常任委員会の議員間討論を実施し、<br>令和3年9月30日付で、令和4年度予算編成に対する提言を<br>4項目抽出して市長に提出した。それぞれ、どのように当初予<br>算に反映したのか。  |
|             | ③ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための感染予防が 喫緊の課題であり、国から届いたワクチンを市民の皆様に混乱 なく、迅速かつ着実に接種していただける準備が必要である。 令和3年1月からは、「ワクチンチーム」を編成して対応した が、担当する職員は、年度途中の異動、兼務など業務の混乱も 生じている。他市でもワクチン接種推進室などを設置して取組 みを強化しており、市長も、所信表明の中で、「これまで前例 のないミッションに果敢に挑んでいるワクチンチームのメン バーを先頭に、職員全員が一丸となって取り組む」としている。 令和4年度予算編成において、ワクチンチーム及び市役所におけるエッセンシャルワーカーの職員の体制強化と人員確保の 考えをきく。 |

| 発言通告者        | 議席番号 1 番 氏 名 南 川 則 之  |
|--------------|---|
|              |   |
| 件名及び         | ④ 国の予算編成方針の中には、「未来を担う子供の安心の確保と<br>子育てしやすい社会の実現」を掲げている。市長の所信表明で  |
| 件名<br>及<br>旨 | (4) 国の予算編成方針の中には、「未来を担う子供の安心の確保と子育てしやすい社会の実現」を掲げている。市長の所信表明では、鳥羽市の未来を担う子供達への教育、子育でについて力点を置いた市政運営の展開が希薄になっていると感じる。令和4年度当初予算編成において、未来の子供達への投資事業などについて、どこに力点を置いたか。  《市長》 |
|              |   |